



〔寄稿〕

多様性がつくる元気で持続可能な長野県

一般社団法人長野県経営者協会 会長 碓井 稔
(セイコーエプソン株式会社取締役会長)



持続可能な社会と経済

世界は脱炭素社会に向けて大きく動き始めました。2050年までにカーボンニュートラルを実現することが世界のコンセンサスになりつつあり、持続可能な社会の実現に向けた活動が多くの国や地域、企業で活発になっています。

人類は自然環境や資源を使い温室効果ガスを排出することにより、豊かさを享受してきました。大量生産、大量廃棄の産業構造や東京のような大都会が豊かさをリードする時代でした。これからは、資源の再利用やエシカル消費で豊かな自然と共生する再生可能エネルギーを基盤とする時代です。かつては環境と経済は相反していました。これからは環境に配慮しないことがデメリットとなり、環境に配慮することに経済合理性が生まれます。

企業の役割

企業はより良い社会づくりに貢献するために存在します。人類最大の課題の一つである地球温暖化の克服は企業の社会的責任であり、しっかりと自覚して活動しなければなりません。ただ、急激な転換では現業が成り立ちません。長期的な視点を持ち、省エネに努めるとか廃棄物を減らすとか、できることから着実に前に進めることが重要です。コロナ禍で地方への移住やワーケーションが評価され、デジタル化がその後押しをしてくれます。社会の大変革は過去にしがみついた人にとってはリスクであり、新たな未来づくりに挑戦する人にとってはチャンスなのです。長野

県経営者協会も挑戦する集団でありたいと考えています。

豊かな自然とエネルギー

私の家からは雪をかぶった穂高岳が見えます。感動します。豊かな自然は持続可能な社会の基盤です。再生可能エネルギーの代表格水力発電もこの自然から生まれます。エネルギーも地産地消が環境にやさしいはずです。「信州Green 電源拡大プロジェクト」のように、電気を作る側だけでなく、売る側、使う側の3者が連携し長野県の豊かな資源を活用した再生エネルギーを普及拡大していく取り組みにも注目しています。長野県が元気になって、豊かな自然と共生する持続可能な社会の好例を作り出したいですね。

多様性を活かす環境づくり

多様性はイノベーションの源泉です。全ての老若男女が高い志を持ち、異なる視点から知恵を出し合い、具体的な行動を起こすことが必要であり、産学官の連携は必須です。そんな環境づくりに貢献したいと考えています。長野県では古くから「長野県環境保全協会」による活動が行われ、また、昨年6月に「長野県ゼロカーボン戦略」が策定され、脱炭素社会実現に向けた高い目標設定が成され、さまざまな野心的な活動が始まっています。経済活動のインフラ整備に関する強力な活動が県主導で始まっていることを大変頼もしく思っています。

2050 信州 2021 年度実施結果 ゼロカーボンチャレンジ!

このチャレンジは、家庭でできる地球温暖化防止を行うとともに、2050 年のゼロカーボンに向けて今からどんなことができるか、という課題に子どもたちがチャレンジするプログラムとして作成しました。昨年度の先行実施を受け、今年度は県内全域の小中学校から参加を募り、子どもたちに冊子「表紙写真右」を配布して、夏休みを中心に家庭で挑戦してもらいました。

●参加数

その結果、学校 21 校(小学校 17 校、中学校 4 校)、個人 2 名、小学 1 年生から中学 3 年生まで 1,191 名の児童・生徒に参加いただきました。

[円グラフ上]

さらに、「私の 2050 ゼロカーボン」という題で、現在取り組んでいること、これからやってみたいことなどを書いてもらう「プラスチャレンジ」には 558 名に応募いただき、200 名に記念品をお贈りしました。→3~4 頁をご参照ください。

●取り組みの広がり

なお、長野市および県佐久地域振興局では、「プラスチャレンジ」をそれぞれ、地球温暖化をテーマにした環境標語、ゼロカーボンを達成した「2050 年のあなたの街」の未来予想(記述またはイラスト)に変更し、「長野市版」[表紙写真右]・「佐久地域版」として取り組んでいただきました。

●チャレンジ 1・2 の結果

①チャレンジ 1 やってみよう! お家で地球温暖化防止

チェックリストにある「冷蔵庫の開け閉めは短く」「なるべく家族一緒にの部屋で過ごす」など 24 項目から 5 項目選んで 7 日間チャレンジしてもらいました。

このチャレンジでは、できた数を記入してもらいますが、最大 35 点(5 項目×7 日)のところ、全参加者の平均は 29 点でした。

②チャレンジ 2 調べてみよう! 2050 ゼロカーボンへの道

次の㊸~㊻から 2 つ選び、「ワークシート」に記入しながらチャレンジしてもらいました。

- ㊸ パンフレット『地球、だいじょうぶ? 長野県と地球温暖化』を読んで、地球温暖化についてくわしくなるよ
- ㊹ 「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」で、お家の屋根でどのくらい太陽光発電できるか調べよう
- ㊺ 信州産の野菜・果物を食べて、「おいしい信州ふーど de ビンゴ」に挑戦しよう
- ㊻ 付録のかるたで「環境マーク探検」をしよう
- ㊼ ごみを減らそう&食品ロスをなくそう

このチャレンジで一番多く選ばれたのは㊸で、次いで㊹、㊺が多く選ばれました[円グラフ下]。

●学校応募

参加していただいた学校のうち、全児童・生徒数に対する応募数の率が高い学校について、小学校では、優秀協力校として 5 校、準優秀協力校として 4 校、中学校では特別協力校として 3 校を選定し、環境教育にご活用いただく教材費を贈呈しました。

今年度、多くの児童・生徒の皆様に参加いただきましたが、来年度はさらに増えるよう学校への周知を図ってまいります。

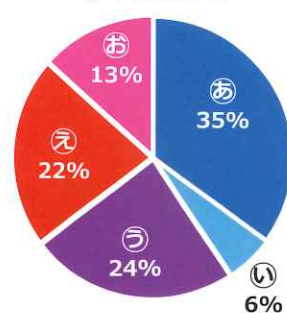


学年別応募者数

小1=14・小2=1・小3=10名



チャレンジ 2



結果・冊子・ワークシートなどくわしくは県センターHPへ→



ゼロカーボンチャレンジ! プラスチャレンジ 「私の 2050 ゼロカーボン」より

『2050 信州ゼロカーボンチャレンジ』(2021 年度版)では、「プラスチャレンジ」として、「2050 ゼロカーボンに向けて、あなたが現在取り組んでいること、これからやってみようことやアイデアなど」を書いた作文(300 字以内)を募集しました。未来を担う子どもたちの素直な文章は虹のように輝いて見えました。550 名を超える応募から 7 名の作文をご紹介します。



●東御市立滋野小学校 3年 笹井 陽平さん

ぼくは、ゼロカーボンチャレンジのことをべん強してから、**電気**をちゃんとけしたり、**水**を出しっぱなしにしないようにしたり、**気**をつけて生活しています。

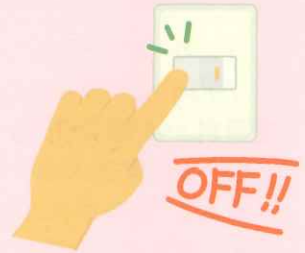
ほかにも、お兄ちゃんが電気をつけっぱなしにしたら、ちゅう意をしています。



お母さんは、買い物に行くとき**マイバッグ**を持っていたり、**ごみの分べつ**や、**リサイクル**できるものは、リサイクルに出しています。

世界中の人にこのことを知ってもらいたいです。

そしてみんなが気をつければ、地球温だん化ぼう止が出来ると思います。このままだと、地球がどんどんあつくなっていくので、みんなできょう力しないといけないと思います。



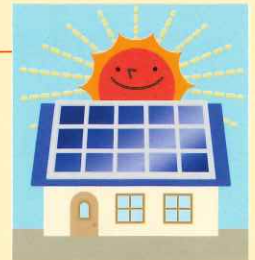
●千曲市立埴生小学校 4年 山本 夕夏さん

わたしのうちは、**太陽光発電**を使っています。わたしが大人になって家をついたら太陽光発電をつけたいと思いました。

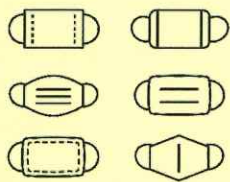
電気を使いすぎないように、家族が同じへやですごしたいです。シャワーやじゃぐちの**水**などをだしっぱなしはやめる。近いところは**歩く**か**自転車**で行って、遠くに行く時は車だけでなく、**バス**や**電車**を使うようにすることも大切です。それから、のこさず食べることで**ゴミ**をへらすこともできる。わたしにできることはたくさんあります。

「**かんきょうマーク**かるた」をしたら、たくさんのマークやいろいろな考えがあるということが分かりました。これからはこのマークをきにすることにしました。

わたしが大人になっても安心してらせるといいです。



●須坂市立豊丘小学校 5年 佐藤 大凱さん



ごみ調べをしたら、**マスク**が大量にあって、**マスク**も**リサイクル**できないかなと思いました。いがいとじどう車が捨てられていて、びっくりしました。

ぼくは、スーパーで有料ぶくろじゃなく**エコバッグ**でかっているけど、**ゴミ**をへらすには、外の道ろとかで食べるのをきんしたり、さけさせたりすると、外に**ゴミ**がへると思いました。

そして **SDGs** とかは、**ふく(服)**とかをすてたりしないで、**リサイクル**するようによびかけるといいと思います。ぼくも、小さくなった**ふく**は、他の人にあげたりとか、そうゆう工夫をしています。

好ききらいをするのはもったいない。大切な**ごはん**が(すてられて)なくなってしまうので、**好き**きらいしないようによびかけたほうがいいと思いました。



かのう
●東御市立和 小学校 6年 竹内 日和さん



学校の総合の授業(かのうタイム)の時間に、SDGs のことを調べて、どんなことが地球におこっているのかを知りました。それで私たちは、竹があまり使われていない(使っているところをあまり見ない)と思って、竹を使っていろいろなものを作りました。竹を使って、水でっぽう[写真右]やいかだ・オール[写真左]をクラスのみんなで作りました。



地球温暖化は私にとっては、最初は、どうでもいいか、知らないことが多かったけど、クラスのみんなと調べてみると、いろいろできてびっくりしました。どうでもいいかと思っていたのが、もっと知りたいと思いました。そして、自分ができるところをもっともってやってみたいです。

●安曇野市立三郷小学校 6年 橋口 友彩さん

ゼロカーボンチャレンジをして、家のゴミの量が長野県の目標の量(1日1人あたり790g)より多いことや、(信州屋根ソーラーポテンシャルマップで調べると、)電気使用料が太陽光発電に変えると年間8万円も節約できることを知り、今まで気にしていなかった家族の水や電気の使い方が気になるようになりました。

ゴミは、食品ロスはなかったけど、トレーや紙類のゴミの多さが気になりました。学校から配られるお便りや、広告の裏をメモとして再利用したり、身近なことから工夫して少しでも地球温暖化を食い止める協力をしようと思います。



あと、家や車、家電製品などが太陽光で使えるようになれば良いと思いました。地球温暖化防止を世界中の人が同じ気持ちでやれば、ゼロカーボンが実現するだろうと思いました。

●茅野市立永明中学校 1年 五味 はなえさん

私は、2050 ゼロカーボンに向けて家族で、「お家で地球温暖化防止チェックリスト」のほとんどを意識して取り組んでいます。なぜなら、これからの未来は、私たちがつくっていくものだから、何年先じゃなくて今を大切にしたいからです。

今までは、あかりをつけっぱなしにしたり、シャンプーの量が少し多かったりしたから、家族みんなで直せるように意識して、今では、二つとも直せてきています。どんどん家の中での課題を見つけて、自分から自分で取り組めたらいいなと思います。

これからもみんなできを合せて、ゼロカーボンチャレンジを成功させてみせます。

茅野市立永明中学校 1年 五味 はなえさん
お家で地球温暖化防止 チェックリスト

チェック項目	達成状況
省エネ	<input type="checkbox"/> 電気使用量を削減しているか
水	<input type="checkbox"/> 節水器具を使用しているか
ゴミ	<input type="checkbox"/> 資源物の分別を行っているか
カーボン	<input type="checkbox"/> 省エネ家電を使用しているか
その他	<input type="checkbox"/> 環境意識を高める活動を行っているか

●中野市立高社中学校 3年 小山 実花さん



私は 2050 年 45 歳になっています。そのとき今よりもっと地球温暖化が進み、生活がしづらいのはイヤです。なので私は、大きなことはできませんが、身近でできることを取り組んでいます。例えば、スーパーにはエコバッグを持って行ったり、常に節水・節電を心がけています。また、学校では緑化委員長として緑のカーテン作りの企画をたて、あさがおを植えました。こうした取り組みが少しでも役立つとうれしいです。

まだ、取り組んだことのないことでやってみたいことがあります。それは、バナナの皮からプラスチックを作ることです。私はよくバナナを食べるので、このことを知ったときとても興味を持ちました。

